

2016年4月21日



## 京急グループの地域貢献活動

# 地元駅長2名が社会福祉施設を訪問！

## 駅長が駅を飛び出し、子どもたちに会いに行きました！

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，横須賀中央駅長および三浦海岸駅長の2名が，4月21日（木）に，京急沿線の社会福祉施設「希望のひかり」（所在地：横須賀市武1-1-16）を訪問し，障がいをお持ちの子どもたちとの交流会を行いました。これは京急グループの地域貢献活動の一環として行われているもので，今回で3回目になります。

2名の駅長は，「京急電車運転シミュレーター大会」，京急のマスコットキャラクター「けいきゅん」との記念撮影，プレゼント贈呈などをおこない，子どもたちと思い出に残る楽しいひと時を過ごしました。

詳細は以下のとおりです。



子どもと一緒にペーパークラフトをつくる太田駅長（左）と小松駅長（右）

### 1. 目的

地元の社会福祉施設での地域貢献活動を実施することで，沿線地域と信頼関係の強化を図ります。

### 2. 内容

当社の駅長2名が沿線の社会福祉施設を訪問し，子どもたちと交流，写真撮影およびプレゼントの配布などを行います。

### 3. 対象

社会福祉法人 清光会「希望のひかり」の子どもたち約20名

### 4. 訪問者

横須賀中央駅長 小松 朗，三浦海岸駅長 太田 芳孝，および当社社員数名

以上